

### 平安女学院がマスコミに報道されました！！

寺町のサテライトスタジオで、学生たちによる作品展や写真展！



◇平安女学院の学生が絞り染めの技法で制作した造形作品展が、京都市中京区寺町通御池下ルの平安女学院サテライトスタジオにて開催されています。

◇「見守り教育や保育を学ぶ」の事例として、絞り染めの作品づくりに挑んだ。和紙と絵の具を使い、美しい模様を描いた15点を制作した。

◇「簡単な材料でも、紙を折ったり、くしゃくしゃにするなど遊び心を加えることで個性的に仕上がっている。14日まで。入場無料。03日(月)休。

(後藤創平)

2016.4.2 京都新聞



2016.4.20 京都新聞



2016.4.1 京都新聞

個性豊かな学食—この春にオープンした“エディ・カフェ”！

コトチカ御池OPENセレモニーでレセプションオンistが活躍！



2016.1 WEBサイト「烏丸経済新聞」

「貴賓室のヨーロッパメニュー」をメインとした「中華めし」のメニューが、京都市中京区で。



緑の植栽、スタイリッシュな看板が目印を引く京都橋大の「エディ・カフェ」。昨年までは井もを提供する食卓だったが、学生の要望に応えるこの春新たにオープンした。内装のデザインは都市環境



◇中国人留生の要望を反映した学食「中華めし」のメニューも都外提供



### ニーズ合わせメニュー充実

平安女学院大では、環境サイエンス学科のゼミ生が提案した「学生にとって居心地の良い空間」をイメージした「エディ・カフェ」が、3月まで地下の食卓から一変、ガラス張りの窓から光が差し込み、インテリアの豪華な応接セットが置かれていた。カフェ利用もできる。パフエやワッフルなどデザートメニューも充実させた。

山岡景一郎学長は、市内の古書店で、イメージに合う家具を探し回った。観光関係の就職希望者も多く、「学生をのびのびさせたい」と話していた。もう一つホスピタリティを体現してほしい」と話す。国際観光学部2年の竹内千枝さんは「留生の要望を反映した新メニュー」中華めし」を体験してほしい」と話す。

京都市中京区で、中国人留生の要望を反映した学食「中華めし」のメニューも都外提供

### 貴賓室やカフェ「中華めし」も

しを加えた。酢豚やホイコーロを日替りだが、今後学生や中国料理が主業の教員が、中国やスペイン語、フランス語などに対応している。広報と半数が中国人「ご飯の量が多いため、頼みを持ちもらえらるような学食にした」と話している。

京都橋大京都市外大言語化にも取り組む、は一般客も利用できる。一部のメニューも。



京都橋大のリスバルエリ京都市中京区で

2016.4.27 毎日新聞

### 個性豊かな「学食」誕生